

企 画 振 興 課

1 市町村行財政運営

地方分権時代にふさわしい自主・自律的な自治の確立を求められている市町村において、地域住民との協働を図りつつ、透明性の高い行政運営、健全な財政運営が行われるよう、定員管理、給与実態、財政状況などの各種調査を通じて、各団体の状況を把握するとともに、必要に応じて助言を行っている。また、広域行政についても、上田地域広域連合や上田地域定住自立圏が主催する各種会議への参画等を通じ、必要な助言や情報提供を行っている。

区分		上田市	東御市	長和町	青木村	県内市町村 平均	
職員数	人	1,010	239	77	50	-	
平均給与月額	百円	3,272	3,105	3,248	3,207	3,168	
	平均年齢	歳	42.5	41.3	43.1	44.6	-
ラスパイレス指数		99.4	98.4	97.5	92.7	97.5	
歳入総額	千円	79,510,664	17,311,259	6,067,594	3,625,160	15,300,635	
	市町村税	千円	22,415,047	4,198,086	749,956	467,493	4,077,399
	比率	%	28.2	24.3	12.4	12.9	26.6
	地方交付税	千円	15,653,230	4,850,069	2,973,799	1,748,650	3,763,349
	比率	%	19.7	28.0	49.0	48.2	24.6
歳出総額	千円	76,956,280	16,650,681	5,825,240	3,386,229	14,681,379	
	人件費	千円	11,847,108	3,082,143	927,714	759,009	2,350,652
	比率	%	15.4	18.5	15.9	22.4	16.0
	公債費	千円	6,773,984	2,588,992	656,944	186,083	1,416,000
	比率	%	8.8	15.5	11.3	5.5	9.6
標準財政規模	千円	41,026,384	9,379,667	3,763,885	2,211,124	8,292,556	
地方債現在高	千円	62,834,303	16,047,105	5,835,138	1,499,640	11,324,808	
積立金現在高	千円	21,625,545	4,429,646	2,933,027	2,202,472	6,377,778	
	財政調整基金 現在高	千円	4,173,814	2,314,232	1,533,683	1,044,633	2,341,664
財政指標	経常収支比率	%	90.5	91.9	85.7	80.4	87.7
	実質公債費比率	%	5.3	10.1	9.8	8.1	6.5
	財政力指数		0.58	0.48	0.22	0.22	0.37

(注) 1 「職員数」、「平均給料月額」、「平均年齢」については、「令和6年地方公務員給与実態調査」による一般行政職員(企業職員等を除く)の数等である。

2 「歳入総額」以下の財政状況の各項目については、「令和5年度決算統計調査」による。

2 地域振興

(1) 地域振興推進費

地域振興局長のリーダーシップのもと、他の現地機関と連携調整を図りながら、地域課題の解決や地域の活性化等に向けた取組を実施する。

【 令和6年度実績 】

1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり				
① 地域と一体となった観光需要の回復				
事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
上田地域広域 観光推進事業	上小地域観光戦略会議を軸とした地域を巻き込んだ観光振興 1 個別課題解決事業 ・地域の食材を活かした観光地域づくりの推進（食の生産者ツアーの実施） ・サイクルツーリズムの機運醸成 2 道の駅連携促進事業 ・道の駅周遊イベントの実施 3 観光誘客促進事業 ・観光キャンペーンの実施 ・インバウンドの促進	2,300	○「上小地域観光戦略会議」個別課題解決事業 ・食材活用分科会 上田地域の食材や生産者の持つストーリーを飲食店や宿泊施設に知ってもらい、扱ってもらうために、生産者の訪問や生産者からのプレゼン、交流会を実施した。 ・サイクルツーリズム分科会 上田地域における自転車を活用した観光地域づくりを目的として、安曇野市への先進地視察、上田市・青木村をコースとした観光関係者向けの試走会、機運醸成のためのセミナー等を実施した。意見交換では、参加者から、今後のサイクルツーリズム推進に向けたヒントや課題点等が数多く挙げられた。 ○道の駅連携促進事業 9月に開催した観光キャンペーンにて、上田地域の道の駅で使用できる特産品引換券が付いた「道の駅周遊チラシ」を配付した。今回の課題点を改善した上で、令和7年度も「道の駅周遊チラシ」を作成・配布する予定。 ○観光誘客促進事業 地域の行政関係者・観光事業者等と連携の上、タイ人のインフルエンサーやランドオペレーター等を招請し、上田地域（上田市・東御市）の「雪」「文化」「食」「温泉」等の観光コンテンツを巡るファムトリップを行った。3日目には上田合同庁舎で招請者・観光事業者・行政関係者等との意見交換会を実施した。また、意見交換会を通じて、上田地域における観光コンテンツの魅力の効果的な発信方法や、今後のインバウンド受入れに関する課題点等について、地域の関係者間で共有することができた。	商工観光課
【松本地局実施】 信州まつもと 空港利用振興 事業	松本空港を利用して来県する旅行者（レンタカー利用者）に対し「レンタカーDeぐるっ得パス」を配布することにより周遊観光を促進するとともに、利用者データを収集する。（上田地域の掲載店舗等に応じた費用を負担。）	35	クーポンの利用数は全体で129件（うち上田は9件）であった。具体的な利用先は、地蔵温泉十福の湯（3件）、みずゞ館本舗飯島商店（2件）、上田市観光会館売店（2件）などであり、松本から市内を經由して菅平方面へ向かうルートで観光客が移動していることを把握できた。	松本地域 振興局 企画振興 課
農産物直売所 魅力アップ支 援事業	取扱品目や出荷者の拡大支援に加え、集客力の拡大に向け、管内直売所の共通課題の解決に向けた事業とともに、農業と観光業を“つないだ”情報発信アイテムを作成する。	261	・端境期出荷用野菜の栽培期間や保存方法を直売所技術情報としてチラシに掲載し、直売所やJAを通じて普及・PRした。若手農業者や地域の中心的な農業者から実際に取り組んで出荷したとの報告があった。 ・「次世代につなぐ直売所“力”向上セミナー」を2回にわたり開催したところ、直売所関係者、生産者、市町村職員等のべ68名が参加した。座学・実践を通じて、「接客の向上が直売所の魅力アップにつながることを学んだ」「働きやすい職場づくりを意識するきっかけとなった」との感想が聞かれ、接客サービスの向上と働きやすい職場づくりにつながる研修会となった。 ・効果的なPOPの書き方、使い方をテーマに直売所魅力アップセミナーを開催したところ、直売所関係者、市町村等26名の出席があった。「POPの重要性がわかり、POPを書いてみようと思う」との感想が聞かれ、実際にPOPを取り入れている直売所が見られた。 ・直売所ごとのおすすめ商品や出荷時期を掲載したほか、観光情報等も盛り込んだ農産物直売所マップを作成し、配布した。	農業農村 支援セン ター

2 地域を支える産業のグレードアップ

① 持続可能な産業の実現に向けた取組

事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
にぎやかな森プロジェクト	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、調査研究・評価により東信カラマツや森林に係るデータの見える化を図るとともに、地域林業経営者等への成果を普及啓発する。	699	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究の協力機関と連携しながら年間を通して調査研究活動を行い、最後に成果報告会を開催し、支援企業や関係団体に普及啓発した。 <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究活動 13者 (37名) ・成果報告会 39者 (77名) ・当プロジェクトに賛同して、最初に森林の里親協定を締結した2社と、令和6年度中に協定期間の延長契約を行い、支援企業は引き続き14社となった。 	林務課
若者の心を掴め！上田のお仕事魅力発信サポート事業	「若者への事業PR力」向上のための事業者向け学習会を開催し、関係機関と連携しながら事業者の「外国人材」及び「若手人材の採用力」を強化することで、産業人材の確保に努める。	115	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人材を「知る」セミナーでは、外国人材の採用に関する基礎知識を学ぶ講演と、就活を終えた2年生との意見交換会を実施した。 ・マッチング交流会では、意見交換会で得た留学生の意見をヒントに各事業者がプレゼン資料を作成し、就活を始める1年生に向けた自社PRや、自社ブースでの個別意見交換会を行った。 ・今回は、専門学校 長野ビジネス外語カレッジ (NBL) と連携した初の試みであったが、セミナー参加者数・マッチング交流会参加事業者数ともに、目標値以上の結果となった。 ・事業実施後のアンケートによると、事業者・留学生ともに「お互いのニーズを知る良い機会になった」という意見が多かった。 	商工観光課
伝統的工芸品の価値・魅力再発見×発信による販路拡大事業	観光客や地域住民を対象とした製作体験会の実施や、現代の生活スタイルにマッチした活用方法等を提案することにより、伝統的工芸品の価値・魅力を再発見してもらい、販路拡大につなげる。	565	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿教湯温泉で開催されたイベント「鹿教湯温泉 食・浴の秋祭りウィーク」における上田地域の伝統的工芸品の展示・製作体験では、周知の徹底、主催の鹿教湯温泉観光協会からチラシ及びSNS等で案内していただいたことで、3日間でおよそ450人の観光客等がイベントに会場し、そのうち374人が展示の見学、製作体験を行った。また、伝統的工芸品産業地域内循環支援補助金 (I型) を活用して、上田地域の伝統的工芸品である手作り打上花火を実際に打上げて、多くの方に魅力を伝えた。 ・住宅展示場のモデルハウスにおける見学会では、ハウスメーカーと連携し、生活空間で実際にどのように使用できるのかイメージがわくような展示や身近に感じられるようにワークショップ (製作体験) を実施した。 ・住宅展示場のモデルハウスでのイベントでは、モデルハウスと伝統的工芸品の相性が良く、ハウスメーカーの方や来場者から非常に好評のため、継続して上田地域の伝統的工芸品を展示させていただけることになり、多くの方にPRを行うことができた。 	商工観光課
上田地域の短期大学の連携による地域で活躍する人材定着促進事業	上田女子短期大学と連携して、上小地域の中学生を対象としたキャンパスツアー開催等により4年制大学にはない両校の魅力発信し、地域産業を支える人材の育成につなげる。	100	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は中学生14名、保護者1名にとどまったが、参加した中学生のアンケート結果では、工短で学ぶ内容が分かり大変参考になった、難しそうなイメージが変わった等好評で、上田女子短大のアンケート結果でも同様だった。 ・工科短期大学校では、見学・体験、模擬授業により、工短で学ぶ内容とその先にある地元への就職の理解を図った。模擬授業では就職先企業の質問があり、働くことへの関心がまだ薄い中学生への意識付けになった。 	工科短期大学校

② 世界基準を見据えたワイン産地づくり

事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
上田地域ワイン振興事業	ワインを機軸とした観光誘客を推進するため、ワイン・ツーリズムサポート人材の育成講座を開設する。	421	<ul style="list-style-type: none"> ・講座においては、ワイナリーからの要望により、ガイド育成を主眼に据えた講座を行った。 ・当初想定よりも多く、26名の受講者が出席し、座学講義を中心に盛況であった。参加者が関心を持つことにはつながった（ガイド等のワイン・ツーリズムサポート人材への種まきはできた）が、ワイナリーでのガイドを行う等、本格的なワイン・ツーリズムサポート人材を育成するためには、プログラムが不足していることがわかった。 ・長野県観光機構の職員が同席して講座を実施した。令和7年度は、本講座のノウハウや成果も活用した、本格的なワインガイドを育成する講座を同機構において実施することとなった。 ・講座の後に開催した検討会では、受講側からは、自らの飲食店や宿泊施設でワイン等を説明できる必要がある旨の問題点も寄せられた。 	商工観光課
ワイン用ぶどう生産支援事業	ワイン用ぶどう栽培者の経営安定やワインの評価につなげるための原料ぶどうの品質と収量の向上につながる栽培技術の指導・支援に取り組む。	23	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者技術セミナー及びゼロカーボン意識醸成のための無煙炭化器の実演 参加者数は、前年と比較し約2倍となる46名となり、県内外からの出席も多く、参加者同士の交流も深めることができた。講師からは「高品質のぶどう生産のためのせん定」をテーマに、実際に枝を切りながら、様々な仕立て方のポイントを説明していただいた。また、実際に無煙炭化器を使用し、ぶどう剪定枝を炭化して土壌貯留する取組を実演したことで参加者へ環境負荷低減に向けた取組みを周知することができた。 ・スマート農業実演会 農業用ドローンによる薬剤試験散布の実演会を実施した。薬剤散布の作業時間は短縮できたが、散布圧が低く、葉裏等への十分な散布量が確保できなかったため、ワイン用ぶどうの薬剤散布でのドローン導入については、今後も検討が必要となった。 	農業農村支援センター

3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり

① 医療・福祉の充実、健康づくりの推進、子育て・子育て支援

事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
棚田の学校子育て支援事業	農業資産である棚田について、発達障害や不登校児童が社会とのふれあいの場として活用する方法を検証するため、児童を棚田オーナーとして招待し、田植えや稲刈り等実践し、受入れ側出し手側双方の課題を抽出する実証実験を行う。	331	<ul style="list-style-type: none"> 「発達障がいについて知ろう」をテーマに稲倉の棚田保全委員会を対象した勉強会（10名参加）を開催を行い、基礎的知識を深めてからイベントの開催を行った。 全員で取り組むのではなく、各自が自由に活動できる内容で開催を行った。子どもたちにとっては行動を強制されず、やることは自分で選べ、その選択が常に尊重される環境だったことが良かったと想定される。 棚田はきっかけだったかもしれないが、棚田という自然の中で過ごす時間は、棚田スタッフ、また参加者同士の交流により、子どもたちの社会性スキルアップに効果があったと思われる。棚田への参加がきっかけで、登校を再開できた子、外に出られなかったけど棚田だけは来れた子がいて、子どもが変わるきっかけになることができた。 棚田での交流は、児童生徒だけでなく保護者も短時間ながらその緊張が軽減され支援につながった。 	農地整備課
健康長寿の運動セミナー	成人の運動の習慣化と健康長寿を目指して、運動教室への講師派遣、体験講習会の開催、運動用具の整備及び貸出等を実施する。	122	<ul style="list-style-type: none"> 運動教室への講師派遣事業 上小シニア大学からの依頼がメインであった。ポッチャ大会の審判員として講師を派遣し、参加者同士が豊かに交流しながら楽しめた会となった。 体験会の開催 ポールウォーキング講座は天気に恵まれ、穏やかな陽気の中ガイドを受けながら上田城跡公園を散策、参加者の満足度が非常に高い講座とすることができた。ポッチャ体験講習会は、小学生から80歳を過ぎた高齢者まで幅広い年代の方々が参加した。障がいがあり、電動車いすに乗っている方も参加し、他の参加者と楽しく交流しながらポッチャを行う様子が見られた。 運動用具の整備及び貸出 当所ホームページへの用具一覧や写真の掲載やチラシでの宣伝で、多くの団体へ貸出ができた。 	東信教育事務所
人と猫との共生社会の構築事業	人と猫の問題について情報発信し、関係機関との連携構築と地域住民の意識の醸成を図る。	708	<ul style="list-style-type: none"> 上田市福祉部主催のケース連携会議で多頭飼育問題の実状、予防の必要性、関係機関との連携について情報提供を行った（出席者38名）。また、上田市17か所の民生委員会に出席し多頭飼育問題と地域猫の取組について広報を行い、フォーラムへの参加を呼び掛けた（延べ333名）。事前の広報活動により、フォーラムへの参加者は100名になり、自治会、福祉関係者、動物関係者、ボランティアなど様々な立場の参加につながった。収録動画は県を通じて長野県内市町村、社会福祉協議会、県外の関係機関に限定公開を行い、広く周知、問題提起を行う予定である。 多頭飼育問題解決のためにボランティア・福祉と連携し手術を行い、生活環境を改善することができた。またこの事業は自治会、地域住民の協力を得て行い、地域猫活動も同時に行ったため、今後の地域の取り組みとしての道しるべになった。 	保健福祉事務所

② 移住の促進、つながり人口の創出・拡大

青木村における移住・定住促進事業	青木村における移住者マルシェ等の開催を通じて、青木村移住者と地元住民及び新規移住希望者の3者交流を図り、新規移住者の取り込みを進めるとともに既存移住者の生業確保・定住促進につなげる。	250	<ul style="list-style-type: none"> Nagano Hakko Delightsや青木村らで構成される実行委員会と共催で「移住・交流・地域おこしフェア」を実施した。悪天候の中、地域内外から42名の参加者があり、マルシェやパネルディスカッションと交流会を実施し、参加者からは、交流できてよかった、次回も楽しみにしている、移住者同士のつながりが深まったなどの感想があった。 今回のフェアをきっかけとし、マルシェに参加した村内で山保育をしている保育園（地球クラブまめっこ）に新たに通園することが決まったり、交流パーティでのつながりから次年度以降に同様の移住者マルシェを規模を拡大して実施していく機運の醸成ができた。 	企画振興課
------------------	---	-----	--	-------

4 持続可能な脱炭素社会の地域づくり

① 太陽光・小水力発電等の普及啓発や、具体的な実践に繋がるゼロカーボンの取組の情報発信

事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
地球温暖化対策及びゼロカーボン実現に向けたDIYワークショップ	地球温暖化による暮らしの変化や生活を守るための「緩和」「適応」策として取りかかりやすい建物（内窓）断熱という内容で令和5年度に開催して好評を得た断熱講習会をワークショップメインで実施する。	462	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会「断熱改修はじめの一步2.0」を上田合庁（講堂）にて開催した。ホームセンターの内窓キットを使い、講師の指導を受けながら窓枠模型に設置する内窓DIYに取り組んだ。 ・温暖化防止の普及に取り組む立場にいる県内市町村の行政職員、県内各地で脱炭素先行地域や空き家問題等まちづくりに取り組む企業、地元上田で住宅の寒さに悩む高齢者など、高い問題意識とニーズの高い皆さんに参加いただき、内窓DIYのコツを学んでいただいた。終了時の参加者アンケートで自宅で取り組みたい、環境学習等、普及に努めたいといった意見が多くあがった。 	環境課
合 計		6,398		

※事業費は、千円未満切捨て

【 令和7年度計画 】

事業名	事業概要	担当課
1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり		
① 地域と一体となった観光需要の回復		
上田地域広域観光推進事業	上小地域観光戦略会議を軸とした地域を巻き込んだ観光振興 1 個別課題解決事業 ・地域の食材を活かした観光地域づくりの推進 （食の生産者ツアー、異業種交流会の実施） ・サイクルツーリズムの機運醸成及びサイクリスト誘客 （先進地視察、サイクルイベント等の実施） 2 道の駅連携促進事業 ・道の駅周遊イベントの実施 3 観光誘客促進事業 ・観光キャンペーンの実施・参加 ・インバウンドの促進 （データ分析、商談会・エクスカージョン等の実施）	商工観光課
信州まつもと空港利用振興事業（レンタカー利用促進事業）	松本空港を利用して来県する旅行者（レンタカー利用者）に対し、「レンタカーDeぐるっ得パス」を配布（電子版も提供）することにより周遊観光を促進するとともに、利用者データの収集も行う。（上田地域の掲載店舗等に応じた費用を負担。）	松本地域振興局 企画振興課
2 地域を支える産業のグレードアップ		
① 持続可能な産業の実現に向けた取組		
にぎやかな森プロジェクト	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、調査研究・評価により東信カラマツや森林に係るデータの見える化を図り、その成果を地域林業経営者等へ普及啓発する。	林務課
伝統的工芸品の価値・魅力の情報発信による販路拡大事業	上田地域の伝統的工芸品の価値・魅力を広く一般の方に伝え、関心をもっていただくファンを増やすことを目標に、イベントでの展示・製作体験、住宅展示場のモデルハウスや飲食店等での展示による提案、大学生と連携したワークショップを行い、販路拡大につなげる。	商工観光課
上田地域の短期大学の連携による地域で活躍する人材定着促進事業	上田短期大学と連携して、上小地域の中学生を対象としたキャンパスツアー開催等により4年制大学にはない両校の魅力発信し、地域産業を支える人材の育成に繋げる。	工科短期大学校
② 世界基準を見据えたワイン産地づくり		
上田地域ワイン振興事業	ワインを機軸とした観光誘客を推進 ・ワイン・ツーリズムサポート人材の育成講座を開講。 ・遊休不動産を活用したワイン・ツーリズムの拠点施設の開設を支援。	商工観光課
ワイン用ぶどう生産支援事業	ワイン産地づくりに向け、その基盤となる面積拡大が図られたワイン用ブドウの品質向上及び収穫量アップにつながる栽培技術の支援を継続的に実施する。	農業農村支援センター
3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり		
① 医療・福祉の充実、健康づくりの推進、子育て・子育て支援		
人と動物との共生社会の構築事業	人と動物の問題について、情報発信し、関係機関との連携構築と地域住民の意識の醸成を図る。	保健福祉事務所
② 移住の促進、つながり人口の創出・拡大		
移住者や関係人口等の増加と空き家利活用促進に向けた情報発信事業	地域の空き家利活用事例やノウハウその他地域情報等を軸とした情報発信を行い、移住者や関係人口増加につなげ、地域の維持や活性化を地域住民が一丸となり取り組む機運を醸成するきっかけをつくる。	企画振興課

(2) 地域発 元気づくり支援金

市町村や公共的団体が住民とともに自らの知恵と工夫により、自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業に対し、必要な経費を支援する。

【 令和6年度実績 】

次のとおり、24団体に対し、25件、55,072千円の支援を行った。

ア 事業区分別

(単位:件、千円)

区 分	件数	金額
1 地域協働の推進	3	8,234
2 保健、医療、福祉の充実	3	3,971
3 教育、文化の振興	7	12,925
4 安全・安心な地域づくり	0	0
5 環境保全、景観形成	2	3,733
6 産業振興、雇用拡大 小計	9	23,672
6-1 特色ある観光地づくり	5	12,713
6-2 農業の振興と農山村づくり	1	1,592
6-3 森林づくりと林業の振興	0	0
6-4 商業の振興	1	2,755
6-5 その他	2	6,612
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	1	2,537
合 計	25	55,072

イ 申請者区分別

(単位:件、千円)

区 分	件数	金額
市 町 村	3	4,608
上 田 市	0	0
東 御 市	2	3,200
長 和 町	0	0
青 木 村	1	1,408
広 域 連 合	0	0
公 共 的 団 体	22	50,464
合 計	25	55,072

【 令和7年度採択状況 】

26団体から28件、66,369千円の要望があり、次のとおり事業の選定を行った。

令和7年5月1日現在

ア 事業区分別

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
1 地域協働の推進	2	3,784	1	2,699
2 保健、医療、福祉の充実	3	3,596	2	2,548
3 教育、文化の振興	5	10,907	5	10,907
4 安全・安心な地域づくり	0	0	0	0
5 環境保全、景観形成	1	3,242	1	3,242
6 産業振興、雇用拡大 小計	13	32,122	8	18,666
6-1 特色ある観光地づくり	5	13,128	2	7,063
6-2 農業の振興と農山村づくり	5	13,910	3	6,519
6-3 森林づくりと林業の振興	0	0	0	0
6-4 商業の振興	2	2,796	2	2,796
6-5 その他	1	2,288	1	2,288
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	4	12,718	3	9,005
合 計	28	66,369	20	47,067

【再掲】重点支援対象事業区分別

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
1 ユースセンターの設置や活動支援	0	0	0	0
2 女性リーダーの増加・定着	0	0	0	0
3 外国人県民の暮らしやすさ	0	0	0	0
4 関係人口の創出拡大	10	25,789	8	21,280
5 先端技術の活用	0	0	0	0
6 地域公共交通の維持・確保	0	0	0	0
7 コミュニティビジネス	2	4,768	2	4,768
8 地域の担い手の確保	0	0	0	0
9 ゼロカーボンの取組	0	0	0	0
合 計	12	30,557	10	26,048

イ 申請者区分別

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
市 町 村	2	5,530	2	5,530
上 田 市	0	0	0	0
東 御 市	0	0	0	0
長 和 町	0	0	0	0
青 木 村	2	5,530	2	5,530
広 域 連 合	0	0	0	0
公 共 的 団 体	26	60,839	18	41,537
合 計	28	66,369	20	47,067

3 選挙

選挙の執行に際し、県及び市町村選挙管理委員会と連携して適正な管理執行事務を行うとともに、より多くの投票参加が図られるよう啓発事業を行った。

(1) 最近の執行状況

ア 参議院議員通常選挙（令和4年7月10日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回〕 R1
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	62,454	65,953	128,407	34,968	36,317	71,285	55.99	55.06	55.51	54.68
東御市	12,237	12,509	24,746	7,258	7,316	14,574	59.31	58.49	58.89	56.91
長和町	2,527	2,571	5,098	1,709	1,705	3,414	67.63	66.32	66.97	66.05
青木村	1,755	1,867	3,622	1,206	1,282	2,488	68.72	68.67	68.69	67.80
管内計	78,973	82,900	161,873	45,141	46,620	91,761	57.16	56.24	56.69	55.70
県計	836,517	884,852	1,721,369	488,453	504,861	993,314	58.39	57.06	57.70	54.29

イ 長野県知事選挙（令和4年8月7日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回〕 H30
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	61,938	65,450	127,388	23,356	25,577	48,933	37.71	39.08	38.41	41.50
東御市	12,102	12,406	24,508	5,022	5,278	10,300	41.50	42.54	42.03	44.25
長和町	2,504	2,555	5,059	1,348	1,383	2,731	53.83	54.13	53.98	55.34
青木村	1,730	1,846	3,576	987	1,099	2,086	57.05	59.53	58.33	62.12
管内計	78,274	82,257	160,531	30,713	33,337	64,050	39.24	40.53	39.90	42.85
県計	829,124	877,558	1,706,682	336,322	362,413	698,735	40.56	41.30	40.94	43.28

ウ 長野県県議会議員一般選挙（令和5年4月9日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回〕 H31
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	61,243	64,761	126,004	26,437	28,540	54,977	43.17	44.07	43.63	46.68
東御市	12,021	12,294	24,315	6,235	6,484	12,719	51.87	52.74	52.31	-
長和町	2,489	2,514	5,003	1,379	1,357	2,736	55.40	53.98	54.69	58.22
青木村	1,710	1,832	3,542	1,084	1,162	2,246	63.39	63.43	63.41	66.70
管内計	77,463	81,401	158,864	35,135	37,543	72,678	45.36	46.12	45.75	47.67
県計	585,145	620,859	1,206,004	261,880	274,382	536,262	44.75	44.19	44.47	47.57

エ 衆議院議員総選挙（令和6年10月27日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率（%）			参考 〔前回〕 R3
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	61,432	64,876	126,308	34,898	36,040	70,938	56.81	55.55	56.16	58.00
東御市	12,011	12,265	24,276	7,491	7,570	15,061	62.37	61.72	62.04	60.60
長和町	2,457	2,451	4,908	1,607	1,514	3,121	65.40	61.77	63.59	77.92
青木村	1,709	1,789	3,498	1,179	1,204	2,383	68.99	67.30	68.12	70.87
管内計	77,609	81,381	158,990	45,175	46,328	91,503	58.21	56.93	57.55	59.32
県計	824,190	869,440	1,693,630	480,777	488,155	968,932	58.33	56.15	57.21	59.77

(2) 選挙人名簿登録者数（令和7年3月1日現在）

区分	選挙人名簿登録者数			在外選挙人名簿登録者数		
	男	女	計	男	女	計
上田市	61,294	64,691	125,985	43	63	106
東御市	11,971	12,234	24,205	12	8	20
長和町	2,444	2,443	4,887	4	3	7
青木村	1,710	1,787	3,497	2	2	4
管内計	77,419	81,155	158,574	61	76	137